

令和7年度 栃木西中プロック小中一貫教育

第三期（令和5～7年度）

合同学校運営協議会

小中一貫教育推進委員会

教職員の協働～一貫性のある指導～

児童・生徒の交流～円滑な接続～

接続・・・小6から中1への円滑な接続の充実

共通・・・発達の段階に応じながら、丁寧に成長を促す共通性のある指導の充実

連続性・・・小・中9年間で何度も繰り返し、定着を図る指導の充実

系統性・・・学習内容の系統性を踏まえた指導の充実

＜目指す子ども像＞ 人間味あふれ、たくましく生きる児童・生徒

- ・「人間味」とは、各学年で必要とされる学習内容を習得し(知)、人間性と社会性を身につけた(徳)児童・生徒と捉える。
- ・「たくましく」とは、全教育活動を通して体力の向上をめざし、心身ともに健康である(体)児童・生徒と捉える。

各発達段階で身に付けさせたい力～9年間を見通した指導～

学校段階	【知】 学習内容の習得	【徳】 人間性と社会性	【体】 心身ともに健康
中学校	○学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し探究的な学習のよさを理解する。 ○学習の過程において、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に向けて取り組んでいる。	○学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 ○学習に主体的・協働的に取り組むとともに、他者とのコミュニケーションを通し異なる意見を生かそうとする態度を養う。	○生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 ○運動に親しむとともに、自分の目標をもって健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。
	○学習の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付き、課題解決に必要な知識・技能を身に付けるようにする。	○自分自身や自分の生活について、身近な人々、社会及び自然との関わりで捉え、自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。	○各種運動の行い方及び身近な生活の健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。また「早寝、早起き、朝ご飯」の基本的生活リズムを習慣化する。
小学校	○学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し探究的な学習のよさを理解する。 ○学習の過程において、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に向けて取り組んでいる。	○学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 ○学習に主体的・協働的に取り組むとともに、他者とのコミュニケーションを通し異なる意見を生かそうとする態度を養う。	○生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 ○運動に親しむとともに、自分の目標をもって健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。
	○学習の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付き、課題解決に必要な知識・技能を身に付けるようにする。	○自分自身や自分の生活について、身近な人々、社会及び自然との関わりで捉え、自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。	○各種運動の行い方及び身近な生活の健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。また「早寝、早起き、朝ご飯」の基本的生活リズムを習慣化する。
	○学習の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付き、課題解決に必要な知識・技能を身に付けるようにする。	○自分自身や自分の生活について、身近な人々、社会及び自然との関わりで捉え、自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。	○各種運動の行い方及び身近な生活の健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。また「早寝、早起き、朝ご飯」の基本的生活リズムを習慣化する。
	○学習の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付き、課題解決に必要な知識・技能を身に付けるようにする。	○自分自身や自分の生活について、身近な人々、社会及び自然との関わりで捉え、自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。	○各種運動の行い方及び身近な生活の健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。また「早寝、早起き、朝ご飯」の基本的生活リズムを習慣化する。

本年度の重点目標

重点目標	① 主体的に学びに向かう子どもの育成	② 自ら進んで「あいさつ」のできる子どもの育成	③ 基本的な生活習慣を身に付けた子どもの育成
取組内容 (評価項目)	思考力・判断力を育成するための授業を実践し、児童・生徒が、「できた」「分かった」「楽しい」と感じられる授業を実践する。	「あいさつ運動」を年間計画に位置づけ、心のこもったあいさつができるよう各小中学校で工夫・改善しながら計画的に実施する。	基本的な生活習慣の定着を図り、健康で安全な学校生活が営めるよう健康安全・防災・食育等の指導を計画的に実施する。
成果指標	「できた、授業が分かる・楽しい」に肯定的回答をする児童・生徒の割合を85%以上にする。 (学校評価アンケート)	「自分からあいさつができる」に肯定的回答をする児童・生徒の割合を90%以上にする。 (学校評価アンケート)	「健康安全・防災・食育等の指導を計画的に実施できた。」に肯定的回答をする教職員の割合を85%以上にする。 (教職員自己評価)